第三講　枕詞・掛詞などの【演習編】

【予習制】問題を解いた上で動画を見てください

問1　「たまきはる」という語は、「ぬばたまの」と同じく和歌において特定の語の前に置かれる修辞の言葉である。このような言葉を何と呼ぶか、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　歌枕　　イ　縁語　　ウ　掛詞
エ　序詞　　オ　枕詞

問2　「さやの中山」「宇津の山」は和歌に詠まれた名所であるが、これを修辞上で何と言うか。次のうちから一つ選べ。

ア　掛詞　　イ　枕詞　　ウ　序詞
エ　歌枕　　オ　縁語

問3　「ひさかたの光のどけき春の日に静心なく花の散るらむ」の和歌に使われている枕詞はどれか。過不足なく抜き出せ。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４　「あらざらんこの世の中の思ひ出に今一度（いまひとたび）は猫なくもがな」は著名な和歌に依拠する技巧を使っている。その技巧の名称として最も適当なものを、次のうちから一つ選べ。

ア　掛詞　　　イ　隠喩　　　ウ　縁語
エ　本歌取り　　オ　対句

問５　次の傍線部は、和歌の修辞技巧について言及していると考えられる。その技巧の名称として最も適当なものを、後の中から一つ選べ。

本歌にあればとて、あらかねの土、あまざかる鄙（ひな）、しながどり猪名野（ゐなの）、かくのごとくの言葉、いかにも斟酌（しんしゃく）あるべし。

ア　縁語　　　イ　序詞　　　ウ　本歌取り
エ　枕詞　　　オ　見立て

問６　「立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かばいま帰り来む」の和歌に使われている掛詞はどれか。三文字および二文字で二箇所を抜き出せ。

© RECRUIT

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問7　次の文章を読んで、**問**に答えよ。

僧喜撰(きせん)が住みし山も近かりし。則ち喜撰が岳と言ひ伝ふるなり。押し並びて三室戸(みむろと)といふ高山聳(そび)えつつ、老松琴(きん)を吟(ぎん)じ、夜わたる猿の声いとわびし。麓(ふもと)なる寺院三十三所の巡礼札を打つ観音堂あり。順礼歌とて昔より、

Ａ　夜もすがら月を見むろも明け行けば宇治の川瀬に立つは白波

問　Ａの歌から掛詞を一つ見つけ、何と何が掛けられているか、漢字の書き分けで説明せよ。

掛詞は（　　　　　）で、（　　　　　）と（　　　　　）が掛けられている。

問8　「時雨のみふるやなればぞ濡れにけむ立ち隠れけむことやくやしき」の傍線部について、掛詞を明らかにしつつ、現代語訳しなさい。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問9　「身のうみの思ひなぐ間は今宵かなうらに立つ浪うち忘れつつ」の上の句について、用いられている修辞に気をつけながら傍線部を現代語訳せよ。

問10　次の文章を読んで、後の**問**に答えなさい。

Ａ　しぐれする　いなりの山の　紅葉葉（もみぢば）は　あをかりしより　思ひそめてき

これは、和泉式部の稲荷（いなり）へ参りけるに、時雨のしければ、道にあへりける牛飼童（うしかひわらは）の襖（あを）をぬぎて着せたりけるを、かづきてうれしきことなりと云ひてやみにけるに、後にこの童、式部がもとに来りければ、なにごとに、など尋ねけるによめる歌なり。

注　稲荷…京都にある伏見稲荷大社。

問　Ａの歌について、次の空白部に適切な語句を補いなさい。

歌の中で、（　ア　）の句は、二つの意味が掛かっており、一つは「和泉式部が牛飼童から（　イ　）を借りた時から」の意味で、もう一つは、「まだ色付いていなかった時から」の意味である。

ア＝

イ＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問11　作者の夫である藤原兼家の訪れが途絶えがちになる中、天禄元年五月、兼家の伯父にあたる実頼が亡くなった。訪れのないまま兼家は作者に喪服の仕立てを依頼するが、作者の気持ちを顧みない兼家に腹を立てて依頼を断り、兼家との仲はますます険悪になっていった。次の文章を読んで、後の**問**に答えよ。

さながら六月になりぬ。かくて数ふれば、夜見ぬことは三十余日、昼見ぬことは四十余日になりにけり。〈中略〉人目もいと恥づかしうおぼえて、落つる涙おしかへしつつ、臥して聞けば、鶯ぞ折はへて鳴くにつけておぼゆるやう、

<u>鶯も期（ご）もなきものや思ふらむみなつきはてぬ音をぞなくなる</u>

問　次の文章は、傍線部の歌の解説である。空欄に適切な語句を入れよ。

「鶯も」というのは、「私と同じく鶯も」ということであり、「期もなき」は「終わることのない、果てしない」という意味である。「ものや思ふらむ」は現代語に訳すと「　i　」で、上の句全体を訳すと「私と同じく鶯も終わることのない（　i　）」となる。「みなつきはてぬ」は「皆尽き果てぬ」で「尽き果てることがない」の意味であるが、「（　ii　）はてぬ」が掛けられている。また、「なく」も「　iii　」と「　iv　」の掛詞であり、下の句全体を訳すと「（　ii　）になっても鶯が尽き果てることなく（　iii　）のが聞こえ、私も尽き果てることなく（　iv　）のだ」となる。

i＝

ii＝　　　　　iii＝　　　　　iv＝

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問12　次の傍線部について、この語句は掛詞になっている。何と何が掛けてあるか、説明せよ。

紫式部が渡殿の局に寝た夜のこと。しきりに戸を叩く人がある。彼女は戸を開けようともせず、じっと息をころしている。翌朝、道長から歌が届けられた。

　夜もすがら水鶏(くひな)よりけになくなくぞまきの戸ぐちにたたきわびつる

彼女はそれを読み、すぐに返事を書いて持たせてやった。

　ただならじとばかりたたく水鶏ゆゑあけてはいかにくやしからまし

問13　次の文章は、与謝蕪村が自ら描いたうさぎの餅つきの絵に添えたもので、傍線部中には掛詞が二つ用いられている。それぞれ、わかりやすく説明しなさい。

よすがらごとごとともののひびく音しければ、あやしくて立出(たちい)で見るに、古寺の広庭に、老いたるをのこの麦を舂(つ)くにて有りけり。やがて立ちよりて、名は何といふぞと問へば、宇兵衛と答ふ。

　涼しさに麦を月夜(つくよ)の卯兵衛哉(かな)

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問14　次の本文中の傍線部の和歌には掛詞が用いられている。それを指摘して説明せよ。

今は昔、大隅守(おおすみのかみ)なる人、国の政(まつりごと)をしたため行ひ給ふあひだ、郡司のたびたびしどけなき事あれば、重く戒めむとて召すなりけり。※笞(しもと)を設けて、打つべき人設けて、先に人二人引き張りて出で来たるを見れば、頭は黒髪も混らず、いと白く、年老いたり。見るに、打(ちゃう)ぜむ事いとほしく覚えければ、何事につけてかこれを許さむと思ひて、「歌は詠みてむや」といへば、「詠み候ひなむ」と申しければ、「さらば仕れ」といはれて、程もなく、わななき声にて打ち出す。

年を経て頭の雪はつもれどもしもと見るにぞ身は冷えにける

といひければ、いみじうあはれがりて、感じて許しけり。

注　笞…鞭(むち)

問15　次の傍線部中にある掛詞について説明せよ。

池田正式(まさのり)は、＊和州郡山の藩士なり。〈中略〉身軽き勤めゆゑ、心まかせに花を見ることならずと慷慨(こうがい)して、

そばに居て見ぬや吉野のはなの先

＊和州郡山…地名。現在の奈良県大和郡山市。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問16　Ⅰの和歌は、「世の中はなにかつねなる飛鳥川昨日の淵ぞ今日は瀬になる」（古今集・雑下）を踏まえて詠まれており、掛詞が一つある。どのことばが何と何の掛詞であるか指摘しなさい。

殿上人など通ひまゐりて、藤の花いとおもしろきを、これかれ、「さかりをだに御覧ぜで」などいひて見歩くに、文をなむ結びつけたりける。あけて見れば、

Ⅰ　世の中のあさき瀬にのみなりゆけば昨日のふぢの花とこそ見れ

とありければ、…〈以下略〉

問17　「照る月を弓張としもいふことは山辺をさしていればなりけり」の和歌について説明した左の文章の空欄を補う最適な漢字一字をそれぞれ書け。

この和歌では傍線部の語に掛詞の技法が用いられており、「（　　）れ」と「（　　）れ」が掛けられている。

問18　次の傍線部は何と何の掛詞か説明しなさい。

乞者（きつしや）の歌

おこなひの　つとめてものの　ほしければ　にしをぞたのむ　くるるかたとて

これは、乞食のつねに来るが、東方にゐたる人は物をとらせず、西方にゐたる人はつねにとらせければ、そこにてよめるなり。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　復習問題

①「富士の嶺は恋を駿河の山なれば思ひありとぞ煙立つらん」の歌に使われている技法を次の中から選べ。

ア　枕詞　　イ　懸詞　　ウ　体言止め　　エ　対句

②「しかも□大和の国の人にて…」の□に入る枕詞として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あをによし　　イ　しきしまの
ウ　とぶとりの　　エ　やくもたつ

③「あらましの年を重ねて白雪の世にふる道は今日ぞ嬉しき」の傍線部の掛詞の組合せとして、最も適当なものを次の中から選べ。

ア「降る」と「振る」　　イ「古」と「振る」
ウ「経る」と「振る」　　エ「降る」と「経る」

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　次のAの和歌中の何句目に掛詞があるか。最も適当なものを後の中から選べ。

内裏わたりのどやかなる春のつれづれに、雨さへ降りくらして、日もいと長きに、いとどおもひわびたまひては、春の物とてなどうちうめかれて、

A　うき人に見せばや袖の涙川けふのながめにまさる深さを

ア　初句　　イ　二句　　ウ　三句　　エ　四句　　オ　五句

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　模範解答

問1　オ

問2　エ

問3　ひさかたの

問4　エ

問5　エ

問6　いなば／まつ

問7　掛詞は（　**見むろ**　）で、（　**見む**　）と（　**三室**　）が掛けられている。（「見む」と「三室」は順不同）

問8　時雨ばかりが降り、古い家だから漏れて濡れたのだろう

問9　自身のつらさが、海の波が凪いで落ち着くように、心が和らぐ時は今宵だなあ

問10　ア　あをかりしより　　イ　襖

問11　i　物思いをしているのだろうか　　ii　六月（水無月）　　iii　鳴く　　iv　泣く

問12　「（夜が）明けて」と「（戸を）開けて」が掛けてある。

問13　「月夜」の「月」に「麦を舂く」の「舂く」を、「宇兵衛」の「宇」を「うさぎ」の「卯」と掛けている。

問14　「しもと」が、「霜（と）」と「笞」の掛詞。

問15　「はな」が、「花」と「鼻」の掛詞。

問16　「ふぢ」が、「藤」と「淵」の掛詞。

問17　入・射　（順不同）

問18　「暮るる」と「呉るる」の掛詞。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　解答解説

〔解説〕

① 「駿（する）」が「駿河」と「（恋を）する」の掛詞（懸詞）である。よって、正解はイ。

② 空欄の直後が「大和」。「大和」の枕詞は「しきしまの」である。よって、正解はイ。ちなみに、ア「あをによし」は「奈良」の、ウ「とぶとりの」は「あすか」の、エ「やくもたつ」は「出雲」の枕詞である。

③ 「白雪が降る」と「世に経る」である。よって、正解はエ。

④ 覚えておくべき「頻出例」の掛詞「ながめ」がある。雨が降っているとあり、「川の深さがまさる」ことから「長雨」と、「涙」から「物思いにふける」の「眺め」でおかしくないので、エが正解。

〔解答〕

①　イ　　②　イ　　③　エ　　④　エ

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。